



脱薬剤の earth plus(アースプラス)の開発

セラミックスを活用した複合材料開発業。当社の「低温溶射技術」などを活用し、メディカル・医療にターゲットを絞った「earth plus(アースプラス)の開発」に着手した。医療分野以外にも衣食住のどの分野にも応用でき地球環境・ECOや食の安全・安心など市場のニーズにマッチしている。

業況等の動向について

本業の動向について

セラミックスを活用した複合材料の開発。地道な研究と開発によるライセンス契約により業況的には横ばいである。

異業種参入事業の概要

新規参入事業であるメディカル・医療にターゲットを絞った earth plus(アースプラス)の材料及び製品開発。医療分野以外にも、衣食住のどの分野にも応用でき現在の売上高 200,000 千円と総売上高のすべてを賄うまでになっている。

異業種に参入した動機や経緯、きっかけ

一つの材料が衣食住の多くの用途に用いられる事例は殆どなく、アースプラスがもつ、薬剤の補完という材料設計と安全性が医療分野で最も活かされるのではないかと考えた。

現在は地球環境とかECO、食や医療の安心や安全が騒がれておりまさに市場のニーズにマッチしている。

調査活動、啓蒙活動(ネット等)、セミナー、展示会へ出展するなどのマーケティング活動を積極的に実施した。

参入して最も成果のあったこと及び最も困難だったこと

アースプラスを応用した商品(空気清浄機・マスク他)が全国約 3,000 の医療機関に採用されたこと。海外の医療英文誌に論文が発表されたこと。一方で国内の医療の世界は閉鎖的で新しいものには目を向けない、実績の無いものは認めないという風潮は参入にあたって最も高い障壁となった。

今後の展望・見通し

現在、アメリカやドイツへ売り込みを賭けており海外の医療現場で実証中である。アメリカでEPAの取得、特許の取得を目指している。また、FDAも取得し医療ライセンス契約を結ぶことを考えている。

メリット・デメリット

メリットとしては材料として有効性が認められ多方面への展開が出来たこと。デメリットは完成度が低かったり、認知

度が低かったりすると、材料として活用するには大企業で無いとなかなか使いこなせないことである。

異業種参入時のアドバイス

色々な業種の企業と仕事が出来る。自社の開発製品のことを理解してくれる業種に進むこと。業種間の壁を取り除くこと、作らないこと。

行政の支援について

異業種参入に際し、役に立った行政、支援機関の制度
経済産業省の補助金。

異業種参入に際し、行政に対して望む支援

研究機関への補助金など研究、開発費用の支援。大学の先生方の研究、開発への専門的な部分などの支援。

会社概要

設立: 1984年7月2日

資本金: 91,000,000円

従業員数: 13名

URL: <http://www.shincera.co.jp>